

2023年度 サッカー審判資格講習会

審判部活動報告

審判部では次年度更新時には極力実技講習会に注力していきます。

定例講習会以外にも審判部独自の企画も実施してまいりました。

	講習会名	開催日	開催場所	受講者数	インストラクター名
1	新規審判資格取得	6月4日	中台体育館会議室	56名	足立 良次氏
2	審判資格実技更新	12月10日	中台運動公園球技場	12名	林 克三氏 足立 良次氏
3	スキルアップ研修会	1月16日	赤坂公民館	3名	審判幹部員
4	新規審判資格取得	3月17日	中台体育館会議室	59名	藤井 琢生氏
5	審判資格更新		eラーニングにて実施		日本協会方針



近年、新規審判資格取得と更新講習はJFAWebからの申し込みとなりました。

新規審判資格取得の場合はJFAIDを取得することからはじまります。

JFAID取得後、ログインIDとパスワードを入力して「KICKOFF」サイトに入り

<https://ifaid.jfa.jp/uniid-server/login>

2023年度 審判部の各種活動報告

審判部活動報告

サッカー大会への審判派遣実績

	種別	開催日	開催場所	大会名	派遣者数
1	女子	4月4日	中台球技場	女子サッカーフェスティバル	4名
2	1種	5月27日	中台競技場	40周年記念サッカー大会	6名
3	1種	5月28日	中台球技場	40周年記念サッカー大会	7名
4	1種	7月2日	中台球技場	チャンピオンシップ	4名
5	3種	7月9日	成田西中学校	中学生第2ブロックサッカー決勝	—
6	1種	10月20日	中台競技場	日韓交流親善試合	4名
7	1種	10月21日	中台球技場	日韓交流親善試合	7名
8	2種	2月4日	市内周辺高校	成田市高等学校サッカー大会	—
9	3種	2月18日	中台球技場	成田市文化祭(若獅子杯)大会	3名
10	1種	2月18日	中台体育館	社会人フットサル大会	6名
11	女子	3月17日	中台球技場	うなりくん女子大会	6名
12	女子	3月23日	中台球技場	桜インターナショナル	5名



【 ご連絡 】 リーグ戦審判募集について

審判部ではNFA主催サッカーやフットサル大会、年間のリーグ戦に審判派遣を行って大会を盛り上げてまいりました。

審判はサッカー選手とは違う醍醐味がありますのでサッカー大会を審判の立場で参加いただける方「NFA主催のサッカー大会審判を募集」させていただきます。

自薦、他薦、女性の方でも結構です。審判を始めたばかりの方には丁寧にご指導いたします。ご連絡先は下記となります。よろしく願いいたします。

審判部「林」まで。電話番号：080-5439-3443



【2023/24 競技規則改正について】

2023/24 サッカー競技規則は、2023 年 7 月 1 日から有効になる。7 月 1 日より前にシーズンを開幕する競技会は、これらの変更を事前に適用することも、遅らせて次シーズンの開幕以降に適用させることも可能である。

【第 10 条 – 試合結果の決定】

「ペナルティーマークからのキック」の表現を「PK 戦(ペナルティーシュートアウト)」に置き換える。

【第 11 条 – オフサイド】

2022 年 7 月 27 日付け IFAB 回状第 26 号で概説した「意図的なプレー」と「ディフレクション」の違いに関するガイドラインが、競技規則上に書き加えられる。このガイドラインは、守備側競技者が動いてボールに触れたならば、明らかにオフサイドポジションいたとしてもオフサイドで罰せられないという判断が、守備側競技者が動いてボールに触れるすべてのケースに当てはめられる訳ではないという考え方に基づいたものである。

「意図的にプレーした」とみなす指標

- ・ボールが長く移動したので、競技者はボールをはっきりと見えた。
- ・ボールが速く動いていなかった。
- ・ボールが動いた方向が予想外ではなかった。
- ・競技者が体の動きを整える時間があつた、つまり、反射的に体を伸ばしたりジャンプせざるを得なかったということでもなく、または、かろうじてボールに触れたりコントロールできたということではなかった。
- ・グラウンド上を動いているボールは、空中にあるボールに比べてプレーすることが容易である。

【第 12 条 – ファウルと不正行為】

守備側チームの競技者がボールに向かうことで相手競技者にチャレンジしたこと(相手を押さえる、引っ張る、押す、または、ボールにプレーする可能性のないチャレンジなどを除く)で反則になり、主審がペナルティーキックを与えた場合でも、ボールをプレーしようと試みて反則した競技者と同じように一段階下がる懲戒の罰則が与えられることを明確にした。つまり、反則で相手の大きなチャンスとなる攻撃を妨害または阻止した場合は警告なし(YC なし)で、DOGSO の場合は警告(YC)となる。

【第 12 条 – ファウルと不正行為】

ゴールキーパーは、キックを遅らせたり、ゴールポスト、クロスバーまたはゴールネットに触れるなどして、キッカーを不正に惑わせるような動きをしてはならない。

詳細につきましてはJFAおよびNFAのHPにてご確認お願いいたします。

<https://www.jfa.jp/laws/>